

たかしま

Takashima City
Public Relations

広報

2022

令和4年

9

月号

No. 272

「自衛隊フェスタ50・70 in 滋賀高島」が 盛大に開催されました！

8月7日（日）、高島市民会館と今津総合運動公園を主会場に開催されました。本誌タウンピックアップ 12ページもあわせてご覧ください。

主な
内容

- | | | |
|-----|-----------------------|---|
| 特集1 | 9月1日は防災の日 | 2 |
| 特集2 | 新たな住民自治の仕組み | 4 |
| 特集3 | 身近でお得なバス交通 | 6 |
| | ・令和5年度 保育所等利用申込の受付開始！ | 9 |

無料アプリ「マチイロ」で広報たかしまが読めます！

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。スマートフォン等から当アプリをダウンロードしてお使いください。

マチイロ

検索

※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者のご負担になります。

高島市公式

フェイスブック
Facebook

インスタグラム
Instagram

ライン
LINE

で情報発信中！

こちらの名前でそれぞれ検索してご登録をお願いします。

・Facebook「あっと高島」・Instagram「takashima_city #たかP写真館」・LINE「@takashima_city」【たかP】



イメージキャラクター
「たかP」

特集1 9月1日は防災の日 できることから始める防災

防災課 ☎(25) 8133



公助
人力での救助が難しい場所での救助や公的支援によって早期復旧や復興につなげる役割

共助
自らの安全が確保できた場合、近隣や集落内などで避難への協力、救助、消火活動をする役割

自助
日ごろから自身でいざという時に自分や家族の命や財産を守れるようにする役割

○災害に備えて

防災・減災は、自助・共助・公助の連携が大切とされています。1995年に発生した阪神淡路大震災では救助された97.5%は自力での脱出や近隣での助け合いで救助されており、特に発災直後は自助・共助が大切となります。

9月1日は「防災の日」です。地震や台風などの災害について理解を深め、被害を防ぎ、少なくするためにどうすればよいかを考え、災害に備える日とされています。

全国各地で地震が頻発しており、特に南海トラフ巨大地震については40年以内の発生確率が90%程度と公表されました。本市においても、琵琶湖西岸断層帯などの活断層があり、地震はいつどこで起こるか分かりません。

災害について正しく知って、正しく恐れ、正しく備えることが防災の第一歩です。わがこと(当事者)意識を持って、日ごろから備えておくことが大切です。この機会に、ご家庭や地域での防災対策の確認をお願いします。



ご利用ください！



防災訓練 (避難所づくり)

まち歩き (防災マップ作り)

避難所運営ゲーム (HUG)

自分でできること

1 家の中は大丈夫ですか？

◆家の倒壊や家具の転倒によって命を落とすことがあります。つっぱり棒などを使い家具を固定する、出入口やベット付近には倒れやすい家具を置かない配置など、家の中を点検しましょう。



2 一時的に避難できる場所を調べていますか？

◆近隣の公園など一時的に安全確保ができる場所を確認しましょう。地区によっては一時集合場所(地区避難所)が定められています。

◆広域避難所は安全を確保してから開設するため、時間がかかる場合があります。

安全確認後、順次お知らせしますの、落ち着いて避難しましょう。



3 安全な避難経路を知っていますか？

◆危険性の少ない安全な経路を考え、実際に安全確保ができる場所や一時集合場所まで歩いてみましょう。

◆電柱やブロック塀、耐震性の低い家屋の倒壊などの危険性がないか、避難経路上の危険物を確認しましょう。



4 生活必需品の備蓄はできていますか？

◆大規模災害時には、電気や水道などのライフラインが長期間止まることもあります。最低3日間は生活ができるよう準備しておきましょう。

◆ローリングストックなどをして、日ごろから少し日持ちする食料などを買っておき、使った分を新たに購入するなど災害へ備えましょう。

防災ハザードマップの9ページを参照



みんなのできること

1 地域での助け合い

◆災害は、自分だけにやってくるものではありません。それぞれ地域に住む人同士が協力し、補い合うこと、互いに情報共有できる体制を確保することが大切です。



2 自主防災組織の役割と活動

◆緊急時の連絡網の作成や防災資機材の整備、防災、消火訓練などの活動が地域防災力の向上につながります。

◆災害時には、被災者の救助、応急手当、初期消火、避難誘導、被害状況の把握などによって被害を軽減させることができます。

◆地域の危険個所の情報を地域内に住むもの同士で共有し災害時に備えることが大切です。

2 地区防災計画について

◆地区防災計画とは、地域(区・自治会)の災害リスクを共有し、災害時の備えと行動を地域が主体となって作成する計画です。地域の特性に依りて、必要性の高い取り組みを含めることが重要です。

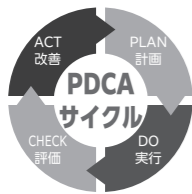
◆策定方法

○決まりはなく、地域の特性に応じて、内閣府が示す地区防災計画ガイドライン等を参考に作成することでより実効性の高い計画が策定できます。

○避難所運営ゲーム(HUG)、まち歩き(防災マップ作り)、災害図上訓練(DIG)、連絡訓練(広域避難所と地域)等を実施して、計画を作成することもできます。

○策定済みの場合は、現状と合致しているか、過不足はないかなど検討と見直しをお願いします。

○広く皆さんでいろいろな意見を出し合えること、いざという時に役立つ計画となります。



※地区防災計画の策定について詳しくは、防災課までご相談ください。

新たな 住民自治の仕組み

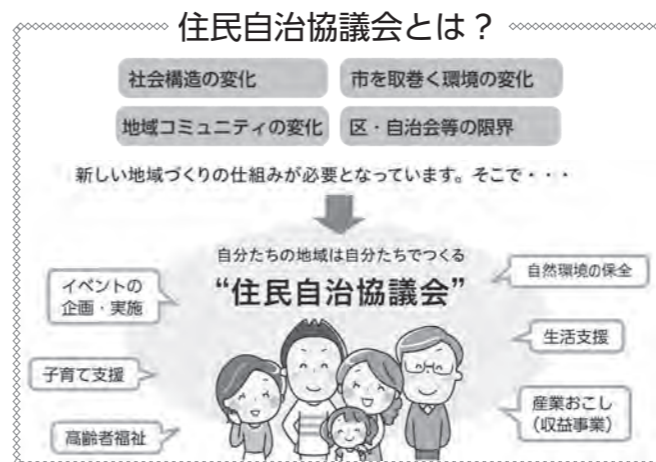
住民自治協議会の取り組みを紹介します

☎ 市民協働課 ☎ (25) 8526

地域のごまごまな団体や住民の方々が連携・協力し合いながら、住みよいまちづくりを進めるための新たな住民自治の仕組みとして、中学校区単位による住民自治組織（住民自治協議会）が設立され、各地域で取り組みが進められています。

詳しい活動方針や事業内容などは各協議会事務局または支所（新旭振興室）、市民協働交流センターにお問い合わせください。

住民の皆さんの参加で、より良いまちづくりを進めていきましょう。



マキノ地域

▼活動概要

防災キャンプ、防犯啓発看板の設置、子ども・若者未来会議の検討、移動支援の調査・検討など

自然体験やスポーツ活動を通じた青少年の育成を図り、日常生活を支える仕組みを検討するなど、相互に協力し合える人材の確保と関係性の醸成を図ります。



谷口会長



会議のようす

☎ マキノまちづくり協議会
(マキノ土に学ぶ里研修センター内)
☎ 090 (2115) 9137

今津地域

▼活動概要

通りの愛称募集と看板の設置、Bace子ども活動事業、見守り隊検討事業など

今津地域の多くの人がつながり、区や自治会、各団体と連携することで安全安心に暮らすことができ、住みたい・帰ってきたいと思える魅力あるまちづくりを目指します。



澤田会長



ごみ分別学習のようす

☎ つながろう今津
(今津東コミュニティセンター内)
☎ 090 (4927) 3222

朽木地域

▼活動概要

鮎の勉強会、自然を生かした体験活動、各種団体・教育機関との連携、配食サービスなど

「みんなが安心して笑顔で暮らせる朽木」を基本理念に掲げ、人や物の動き(活動・生産)や、流れ(交流・物流)が生み続けられる地域づくりを進めていきます。



上山会長



稚鮎の放流のようす

☎ 朽木地域住みよいまちづくり協議会
(朽木支所内)
☎ (29) 0007

安曇川地域

▼活動概要

家員転倒防止事業、中高生との体験交流事業、区・自治会活動の相談窓口の開設など

絆をつなぎ交流と連携で支え合うまちづくりを基本理念とし、区長自治会長のパイプ役、地域の未来を担う人材の育成、自助共助確立の支援等を行っています。



梅村会長



区長・自治会長訪問のようす

☎ 安曇川地域住民自治協議会
(安曇川公民館2階)
☎ 080 (2572) 3739

高島地域

▼活動概要

区・自治会の困りごと支援、各種団体相談窓口事業など

「誰もがつながりかがやき安心して暮らせる高島をつくる」を基本理念に、区・自治会の困りごと支援や、地域の人材発掘と担い手の確保、区・自治会単体では困難な事業を実施していきます。



加藤会長



勉強会のようす

☎ サポートリングたかしま
(高島公民館2階)
☎ 090 (2115) 9055

新旭地域

▼活動概要

活動拠点の整備、若者アンケートの実施、資源さがし探検、高齢者スマホ講座など

みんなが、つながる、迎える、知る、伝える、顔の見える関係づくりのため「町のえんがわ」の実現を基本理念に、イベントや若者向けアンケートを実施し、若者のやりたいを応援できる体制を整えていきます。



平樂会長



暑中見舞いづくりのようす

☎ 新旭地域住民自治協議会
(新旭駅前エスパ内)
☎ 準備中

身近でお得なバス交通

岡 都府政策課 (2022) 0811

現在、市内全域に路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー、市営バスが地域公共交通として運行しています。

地域公共交通は、通学や通院、買い物など、車を運転できない人にとっては、欠かせない大切なものです。昨年10月に実施した「市民アンケート」では、地域公共交通がなくなると回答された方が4分の1程度おられたことから、地域公共交通が担っている役割の重要性が分かります。

一方で、人口減少やコロナ禍による生活様式の変化などによって、バスの利用者が減り、多額の経費を市が負担しているなどの課題もあります。

このことから、より多くの方に地域公共交通をご利用いただけるよう、乗降口に段差のないノンステップバスの導入や、商業施設へのバス停設置など、利便性の向上に努めていきます。



..... お得に利用!!

【バス乗継券】

市内のバス・乗合タクシー（京都バス比良線を除く）をご利用いただくときに、1回に限り無料で乗り継ぐことができます。

※乗継券を受けられるバス停は、「乗継指定停留所」として指定しています。

【バス利用促進券】

市内バスのうち朽木線(安曇川駅～朽木学校前)と若江線(近江今津駅～小浜駅)の2路線は、乗車距離により運賃が変わりますが、「バス利用促進券」をご利用いただくことで、市内区間はコミュニティバスと同額(大人220円、小人110円)でご乗車いただけます。

※事前申請が必要です。都府政策課または各支所で申請してください。

※市内に住民登録がある市民の方が対象です。

利用方法

1 市役所(支所)で促進券を申請

2 バスに乗車

3 促進券と運賃を支払う

550円 お得!!

○たとえば、安曇川駅から朽木学校前まで行く場合、大人1人770円の運賃が220円で利用いただけます。

【フリー乗降制度】

バス停まで歩いていくのが困難な場合は、フリー乗降制度をご利用ください。これは、バスのルート上であれば、そこで乗降ができる制度です。バスが見えたら手を挙げて合図してください。

※交通量の多い道路ではフリー乗降制度を利用できません。

身近に利用!!.....

【予約乗合タクシー】

比較的に利用される方が少ない路線では、「予約乗合タクシー」を運行しています。予約乗合タクシーの運賃は、大人300円、小人150円で、ご利用いただくためには、事前に予約が必要です。

▼利用方法

予約はご利用予定の便の予約締切時刻までに、電話でご予約ください。予約締切時刻は、バスの時刻表をご覧ください。

あとは時間になりましたら、バス停でお待ちください。

(予約先)

大津第一交通株式会社

☎ 0120(524) 447

【バス出前講座】

「バスに乗りたくても、乗り方が分からない」などのお悩みはありませんか。市内を運行するバス・乗合タクシーの便利でお得な情報や予約乗合タクシーの利用方法を分かりやすく説明しますので、区・自治会や団体(グループ)でお申し込みください。

【高島市バス無料DAYの実施】

バスの良さや便利さを体験していただくため、バス無料DAYを実施します。

この日に限り市内の区間であれば、乗り降り自由です。この機会に一度、バスで市内を巡ってみませんか。

バス無料DAYの日にバスを利用した場合、連携する店舗などでその日限定のサービスを受けることができますので、ご家族、ご友人と一緒に楽しみください。
※日程など詳しい内容は、決まり次第市のホームページでお知らせします。

【GTFSS-JPPの整備】

GTFSS-JPP(標準的なバス情報フォーマット)は、地図アプリ「Googleマップ」等と連携しており、バス停の時刻などがスマートフォンなどで確認できます。
市内では、路線バス(若江線、朽木線)が対応しており、Googleマップ上でバス停の位置や時刻等が検索できます。
今後は、「コミュニティバスや乗合タクシー、市営バスでも検索できるよう整備を進めていきます。



受章おめでとうございます

☎ 総務課 (25) 8000

故中野 信男さんが叙位を受章

元安曇川町長 故 中野 信男さんに地方自治功勞として叙位(正六位)が授与され、7月22日にご家族に伝達されました。中野さんは、昭和40年から12年間を安曇川町議会議員として、昭和60年から12年間を安曇川町長として、町の発展に貢献されました。

故萬木 綱一さんが叙位を受章

元高島町長 故 萬木 綱一さんに地方自治功勞として叙位(正六位)が授与され、7月28日にご家族に伝達されました。萬木さんは、昭和58年から5年5か月間を高島町議会議員として、昭和63年から16年1か月間を高島町長として、町の発展に貢献されました。

大面 巖さんが旭日単光章を受章

元マキノ町議会議員 大面 巖さん(88)が、地方自治功勞として旭日単光章を受章され、7月19日にご本人に伝達されました。大面さんは、平成3年から13年8か月間をマキノ町議会議員として、町の発展に貢献されました。

故奥村 吉男さんが旭日単光章を受章

元高島町議会議員 故奥村 吉男さんに地方自治功勞として旭日単光章が授与され、7月19日にご家族に伝達されました。奥村さんは、昭和54年から12年間を高島町議会議員として、町の発展に貢献されました。



たかしまアカデミーは たかしまがキャンパス!!



昨年、準備委員会が検討を重ねてきた「市民大学たかしまアカデミー」が10月に開校します。高島を知りたい、高島の人とつながりたい、高島で何かやってみたいという仲間の輪にあなただも加わってみませんか。卒業後のステージはあなたの地域です。

座学×フィールドワークの2年制

月1回の全24講座で、1年目は高島を「知る」、高島の人とつながる「場」。2年目は、学んだことを生かして、地域に踏み出してみましょう。

高島で活躍する人、高島出身の人、高島を愛する人などさまざまな分野の方が講師です。

学生 無料!

受講料は2年で8000円ですが、学生は無料。対象は高校生以上で、高島を学びたい人。高島でつながりたい学生や世代間の交流を試みたい人、お待ちしています。

知っている? 地元の魅力

里山などの豊かな自然、高島だからこそ守り受け継がれてきた生活文化など。高島でしかできない学びを、現地も訪ねながら楽しく分かりやすく。地域を知り、地域の人も知る場です。

申し込みはこちらから↓



開校式

▼日時 10月23日(日) 14時
▼場所 今津公民館
▼記念講演 高島市長 福井正明

「高島の現状と未来について」

☎ 社会教育課 (25) 8561

令和5年度 保育所等利用申込の受付開始!

☎ 子育て支援課 (25) 8136

対象児童

- ▼入園希望月の1日現在で生後6か月以上の児童
- ▼令和4年度の入園申し込みをしたが、利用施設が決定していない児童
- ▼育児休業の期間満了などによって年度途中の利用を必要とする児童
- ▼令和5年4月から認定の変更(2号認定子ども⇔1号認定子ども)および転園が必要な在園児童
- ▼満3歳以上で、教育を希望する児童
- ▼地域型保育事業所(小規模保育事業所や家庭的保育事業所)の卒園児童

9月9日(金)から次の場所で、「入園のしおり」などの申込関係書類を配布をします

- 保育園 ○幼稚園 ○認定こども園 ○小規模保育事業所 ○家庭的保育事業所
- 子育て支援課 ○各支所 ○マキノ児童館 ○児童発達支援センター「エール」

保育園・認定こども園(保育園部)等

教育・保育給付認定

- 2号認定子ども…満3~5歳で、保育が必要な児童
- 3号認定子ども…満3歳未満で、保育が必要な児童

利用申込受付日

10月11日(金)~11月1日(金)

利用申込受付場所

本庁新館3階 ※各施設では受付を行いません。

利用申込に関する注意事項

- ▽施設ごとに受付日が異なりますので、詳しくは入園のしおりでご確認ください。
- ▽申し込み時に面接を行いますので、申込児童と一緒にお願いします。
- ▽令和5年度の利用申込と保育の認定申請を同時に行います。
- ▽勤務先の都合等で高島市外の保育園に入園を希望される場合は、子育て支援課までご相談ください。

対象施設

【公立認定こども園(保育園部)】

マキノ東こども園、マキノ西こども園、朽木こども園、高島こども園、大師山さくら園、静里なのはな園

【公立保育園】 【公立小規模保育事業所】

古賀保育園 今津東保育園

【私立認定こども園(保育園部)】

愛隣こども園、なないろこども園、安曇川はこぶね保育園、しろふじ保育園、中央ユニバーサルこども園、藤波こども園

【私立小規模保育事業所】

はこぶね保育園ひかりの

【私立家庭的保育事業所】

家庭的保育園 Peek-a-boo

幼稚園・認定こども園(幼稚園部)

教育・保育給付認定

1号認定子ども…満3~5歳で、教育を希望される児童

利用申込受付日

【公立】10月26日(金)~11月1日(金)

【私立】利用希望施設へお問い合わせください。

利用申込受付場所

【公立】本庁新館3階 ※各施設では受付を行いません。

【私立】利用希望施設

利用申込に関する注意事項

- ▽施設ごとに受付日が異なりますので、詳しくは入園のしおりでご確認ください。
- ▽公立園の1号認定子どもの受付は、必要書類の確認のみで面接はありませんが、2号、3号認定子どもの受付と同時にを行うため、混雑時にはお待ちいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

対象施設

【公立認定こども園(幼稚園部)】

マキノ東こども園、マキノ西こども園、朽木こども園、高島こども園、大師山さくら園、静里なのはな園

【私立認定こども園(幼稚園部)】

愛隣こども園、なないろこども園、安曇川はこぶね保育園、しろふじ保育園、中央ユニバーサルこども園、藤波こども園

【私立幼稚園】

今津幼稚園



訪問看護サービスって、なに？

訪問看護ステーションは、病気が障がいのある方の在宅療養生活を支援します。

訪問看護サービスをご利用いただくには、契約が必要となります。また、利用料金は介護保険・医療保険の適用が受けられます。まずは、お気軽にお電話ください。

**ご自宅で体温や血圧などを測定し、
体調や病状の管理を行います！**

☎ 高島市訪問看護ステーション
☎ (36) 8111



訪問看護あるある

体調管理をするナース編

安心は冷蔵庫から いざというときの「命のボタン」

☎ 社会福祉課 ☎ (25) 8120

市では、高島市民生委員児童委員協議会連合会と協働して、地区担当の民生委員・児童委員を通して「命のボタン」を配布しています。設置を希望される方は、住んでいる地域の地区担当にご相談ください。

○命のボタンとは？

一人暮らしの高齢者や障がいのある方などが急病になった時に、救急隊員やかけつけた人に持病やかかりつけ医療機関などの情報をより早く確実に知らせるために、必要な情報を記入した紙を入れたケースが「命のボタン」です。



○なぜ、冷蔵庫なの？



救急隊員やかけつけた人がすぐに本人に関する必要な情報を得るため、ボタンを探し出す必要があります。冷蔵庫は、ほとんどのお宅の台所にあり、すぐに分かるので、冷蔵庫への設置をお願いしています。

○どんな方が対象？

- ▼ 70 歳以上の一人暮らしの方
- ▼ 75 歳以上のみの世帯の方
- ▼ 家族と同居しているが、日中は一人で家にいる 70 歳以上の方
- ▼ 障がいのある方など、民生委員児童委員が必要と認める方

※ボタンに記入された内容は、民生委員・児童委員、市消防本部、緊急搬送先の医療機関、市役所（社会福祉課・各支所）が緊急時にのみ利用しますので、最新の情報を記入してください。



感震ブレーカーの 設置を補助しています！

☎ 防災課 ☎ (25) 8133

「感震ブレーカー」とは、地震による揺れを感知した時に自動でブレーカーを落とす器具です。

ブレーカーを落とすことで地震発生直後の電気機器による火災や、停電復旧時の通電火災を防ぐことができます。

高齢の方だけの世帯など、自らブレーカーを切り避難することが困難と思われる世帯に対して、設置費の一部を補助しています。

【補助要件】

- 65 歳以上の方のみの世帯
- 要介護認定が 2 以上と認定されている方がいる世帯
- 1 級または 2 級の身体障がい者手帳の交付を受けている方がいる世帯 ほか

【補助額】

- 感震ブレーカーの購入および設置に伴う費用の 2 分の 1（上限額 2 万円）
- ※ 新築の際に取り付けるものは対象外です。
- ※ 詳しくは、防災課までお問い合わせください。



防災無線の電波調査を 行っています！

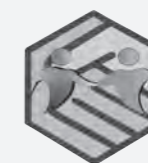
市では、防災行政無線設備の老朽化に伴い、次期防災無線システムの整備を計画しています。

そのため、本年度に防衛省の民生安定助成事業の補助を受け、電波の到達状況等を把握するための実地調査（電波伝搬調査）を専用車両で行っています。調査地点によっては、30 分から 60 分程度停車し実施する場合があります。車両には市の事業であることと、調査実施事業者名を明記し、通行の支障とならないよう配慮し行いますので、ご理解ご協力をお願いします。

【調査実施事業者】 国際航業株式会社

【調査期間予定】 8 月下旬～9 月下旬

※ 調査期間については、進捗状況で前後する可能性があります。



防衛省
(民生安定
助成事業)



各地域文化祭 出演者・出品者募集

市内各地域で次のとおり文化祭を開催します。

発表の部の出演者、展示の部の出品作品を募集していますので、ご応募ください。詳しくは、各公民館にお問い合わせください。

	朽木文化祭	安曇川文化祭	ガリバー文化祭	新旭文化祭
発表の部	日程	11月6日㊤		11月13日㊤
	場所	朽木公民館	発表の部は行いません	ガリバーホール
	募集期間	9月1日㊤～23日㊤		9月1日㊤～25日㊤
展示の部	日程	11月3日㊤～6日㊤	11月2日㊤～6日㊤	11月10日㊤～13日㊤
	場所	朽木公民館	安曇川公民館	高島公民館
	募集期間	9月1日㊤～23日㊤	9月1日㊤～25日㊤	9月1日㊤～25日㊤
問い合わせ先	朽木公民館 ☎ (38) 2324	安曇川公民館 ☎ (32) 0003	高島公民館 ☎ (36) 0219	新旭公民館 ☎ (25) 5500

	マキノ生涯学習 フェスティバル	今津町文化祭
発表の部	日程	11月3日㊤
	場所	マキノ土に学ぶ研修センター
	募集期間	9月1日㊤～23日㊤
展示の部	日程	10月30日㊤～11月3日㊤
	場所	マキノ土に学ぶ研修センター
	募集期間	9月1日㊤～23日㊤
問い合わせ先	マキノ公民館 ☎ (27) 1131	今津公民館 ☎ (22) 2249